

フリガナ 氏 名	イケハラ マイ 池 原 舞	職 名	准 教 授	就任年月日	2023 年 4 月 1 日
-------------	------------------	-----	-------	-------	----------------

<b>研 究 業 績 一 覧</b> (2018 年～2023 年 3 月)	
<b>著書、雑誌、 CDブックレット等 出版物</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (Co-authored book) “Stravinsky’s Response to Japonisme,” In <i>Stravinsky in Context</i>, edited by Graham Griffiths. Cambridge: Cambridge University Press, 2020.</li> <li>・ (共著) 『Debussy, La mer』 (CD ブックレット楽曲解説)、OTTAVA、2020 年。</li> <li>・ (共著) 『楽譜でわかる 20 世紀音楽』、株式会社アルテスパブリッシング、2020 年、担当頁：47-63 頁、254-257 頁、261-266 頁。</li> <li>・ (共著) 「ストラヴィンスキーにとっての「見取り図」-4 手連弾版《春の祭典》」、『レコード芸術』、株式会社音楽之友社、2019 年、担当頁：35 頁。</li> </ul>
<b>学術論文、 研究報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ストラヴィンスキーの客観主義美学再考：アポロンとディオニュソスの拮抗」、『人文学報』121 号、43-68 頁 (近刊)。</li> <li>・ 「ストラヴィンスキー作品における「春」の表象」、『ベルク年報 [18] 2019-2021』、2023 年、55-76 頁。</li> <li>・ 「ジョージ・アンタイルの「四次元の音楽」」、『国立音楽大学音楽研究所年報』 第 31 集、2019 年、107-128 頁。</li> <li>・ 「ストラヴィンスキーとジャズ」、『国立音楽大学音楽研究所年報』 第 30 集、2018 年、63-92 頁。</li> <li>・ 「作曲家の自筆資料は私たちに何を語るか—着想から「作品」へ—」、『日本音楽学会第 68 回全国大会総覧』 第 63 巻 2 号、2018 年、194-196 頁。</li> </ul>
<b>学会発表</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ストラヴィンスキーと「春」：《春の祭典》、《3 つの日本の抒情詩》、《ペルセフォース》における「循環」と「再生」の物語」、ベルク協会 2021 年例会、2022 年 2 月 6 日。</li> <li>・ 「ストラヴィンスキーの創作美学」、京都大学人文科研究所共同研究「20 世紀作曲家における創作プロセスと語法創造」、2021 年 8 月 16 日。</li> <li>・ ‘Stravinsky’s “Stravigor” and his compositional way of “cutting-and-pasting”,’ <i>Stravinsky and France, my second home: Reception and legacy (1910-2010)</i>, 2021. 3. 17.</li> <li>・ 「ダンサー不在のバレエ「花火」における光と音のコラボレーション」、『舞踊学会』、2019 年 12 月 8 日。</li> <li>・ 「アンタイルの構成美学：《ジャズ・シンフォニー》と《バレエ・メカニック》を中心に」、『日本音楽学会第 69 回全国大会』、2018 年 11 月 4 日。</li> <li>・ ‘The Role and its Function of Le Sacrifice as a Changeable Existence~Considering narrative of Danse sacrale (L’ Elue) ~’, “XIVth Congress on Musical Signification Music as Cultural Heritage and Novelty”. 2018. 5. 15.</li> </ul>

<p>レクチャー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「映画「2001年宇宙の旅」：音楽からのメタファー解説」、『映画音楽講座』、2021年12月18日。</li> <li>・「「未来に受け継ぐピアノ音楽の実験」研究部門による活動報告」、『「未来に受け継ぐピアノ音楽の実験」報告会』、2021年8月7日。</li> <li>・「コロナ禍における大学のオンライン授業について」、『サロン de 桐朋主催学内イベント』、2021年2月13日。</li> <li>・（ゲスト・スピーカー）「20世紀後半の芸術音楽における「作品概念」の変容（ver.2）」、立教大学「芸術の扉」、講師：大津聡、2020年7月22日。</li> <li>・佐久間聡一（ヴァイオリン、トーク）、池原舞（ピアノ、トーク）「ソーイチ・リーベ・ブラームス」、サントミュージゼ、アナリーゼワークショップ Vol.38、2020年2月19日</li> <li>・「「わかる」の落とし穴：「ロシア・アヴァンギャルド」芸術の講義から考える」、早稲田大学 GEC 教員有志による勉強会、2019年11月20日。</li> <li>・（ゲスト・スピーカー）「20世紀後半の芸術音楽における「作品概念」の変容」、立教大学「芸術の扉」、講師：大津聡、2019年7月10日。</li> <li>・「アンタイルの芸術思想：1920年代前後の文化史のなかでの立ち位置」、『国立音楽大学音楽研究所 20世紀前半アメリカ音楽研究部門講座 1 後期第 4 回研究会』、2018年10月26日。</li> <li>・「アメリカ居住以降のストラヴィンスキー：作風転換再考」、『国立音楽大学音楽研究所 20世紀前半アメリカ音楽研究部門講座 1 前期第 4 回研究会』、2018年6月8日。</li> <li>・「バルトークの創作現場：《2台のピアノと打楽器のためのソナタ》における演奏実践の模索」、『くにたちデビューコンサート vol.08 Bartók×Bartók～室内楽の多面的世界～ 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団』2018年2月18日。</li> </ul>
<p>楽曲解説執筆、エッセイ執筆他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（楽曲解説）「B→C 鶴田麻記」、東京：東京オペラシティ リサイタルホール、2023年1月17日。</li> <li>・（楽曲解説）「イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ・リサイタル」、東京：サントリーホール、2023年1月11日。</li> <li>・（楽曲解説翻訳）「青木涼子コンサートシリーズ「ヨーロッパ現代音楽の潮流と能声楽」、東京：紀尾井ホール、2022年12月22日。</li> <li>・（楽曲解説）「B→C 会田莉凡」、東京：東京オペラシティ リサイタルホール、2022年10月18日。</li> <li>・（楽曲解説）「セイジ・オザワ 松本フェスティバル オーケストラ・コンサート」、長野：長野県松本文化会館、2022年8月6日-11月26日。</li> </ul>

- ・（楽曲解説）「アレクサンドル・カントロフ ピアノ・リサイタル」、大阪：ザ・シンフォニーホール、東京：東京オペラシティ コンサートホール、2022年6月28日、30日。
- ・（楽曲解説、トーク）「ストラヴィンスキー没後50年記念ミニ・コンサート&ライブ配信」、東京：両国門天ホール、2021年12月25日、26日。
- ・（エッセイ）「ストラヴィンスキーの息づく音——生あるすべてのものは、可能性を有している」、『東京・春・音楽祭2021——ストラヴィンスキーの室内楽』、2021年4月8日。
- ・（エッセイ）「ストラヴィンスキーがカメレオンたる所以——『夜鳴きうぐいす』に見る対比構造』、『新国立劇場オペラ「ストラヴィンスキー：夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー：イオランタ』、東京：新国立劇場、2021年4月4日。
- ・（楽曲解説）「KAJIMOTO イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ・リサイタル」、高崎：高崎芸術劇場、大阪：ザ・シンフォニーホール、東京：サントリーホール、ソウル：ロッテ・コンサートホール、北京：中国国家大劇院、上海：上海シンフォニーホール、2020年2月7日、15日、16日、19日、23日、26日。
- ・（楽曲解説）「大阪交響楽団第235回定期演奏会」、大阪：ザ・シンフォニーホール、2019年12月12日。
- ・（楽曲解説）「第10回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2019」、神奈川：ミュゼザ川崎シンフォニーホール、2019年11月23日。
- ・（楽曲解説）「上野学園大学第68回オーケストラ定期演奏会」、東京：上野学園講堂石橋メモリアルホール、2019年11月22日。
- ・（楽曲解説）「サントリーホール&ウィーン・フィルの青少年プログラム」、東京：サントリーホール、2019年11月13日。
- ・（楽曲解説）「マエストロ小林研一 80th 祝祭演奏会 Vol.1 ハンガリー放送交響楽団日本公演2019、2019年9月1日-3日。
- ・（楽曲解説）「チェンバーミュージック・ガーデン」、東京：サントリーホール ブルーローズ、2019年6月1日-16日。
- ・（楽曲解説）「スイス・ロマンド管弦楽団」、東京：サントリーホール、東京文化会館、東京芸術劇場コンサートホール、名古屋：愛知県芸術劇場コンサートホール、大阪：ザ・シンフォニーホール、上海：上海シンフォニーホール、北京：中国国家大劇院、ソウル：ロッテ・コンサート・ホール、2019年4月9日-14日。
- ・（楽曲解説）「国立音楽大学音楽研究所 20世紀前半アメリカ音楽研究部門演奏会—模索から浸透へ：花開くアメリカ音楽—」、国立音楽大学講堂大ホール、2019年3月10日。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（楽曲解説）「KAJIMOTO イーヴォ・ポゴレリッチ ピアノ・リサイタル」、西安：西安コンサートホール、北京：国家大劇院、霧島：霧島国際音楽ホール みやまコンセール、大阪：ザ・シンフォニーホール、名古屋：愛知県芸術劇場コンサートホール、東京：サントリーホール、2018年11月23日 - 2018年12月8日。</li> <li>・（楽曲解説、作曲家プロフィール執筆）「リレーション '70 第5回演奏会」東京：渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール、2018年11月14日。</li> <li>・（エッセイ）「ストラヴィンスキーと「新古典主義」：《ヴァイオリン協奏曲》の作曲にいたるまでの道のり」、東京交響楽団 『Symphony November 2018』 (Symphony Lounge)、2018年11月。</li> <li>・（楽曲解説）「公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 フランソワ＝グザヴィエ・ロト（指揮）レ・シエクル《春の祭典》」、東京：東京オペラシティ コンサートホール：タケミツメモリアル、2018年6月。</li> <li>・（エッセイ）「東京・春・音楽祭－東京のオペラの森 2018－ 東京春祭の Stravinsky vol.6 ストラヴィンスキーの室内楽～高橋礼恵&amp;ピョルン・レーマン ピアノ・デュオ～ピアノが創り出すバレエ・リュスの世界——《春の祭典》&amp;《ペトルーシュカ》」、東京：東京藝術大学奏楽堂、2018年4月7日。</li> <li>・（楽曲解説）「玉川克の室内楽シリーズ vol.20 ピアノとチェロのソナタ!!!」東京：JTアートホール アフィニス、2018年3月6日。</li> </ul>
<p><b>競争的研究費の獲得</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（共同研究）「20世紀における創作プロセスと語法創造」、京都大学人文科学研究所共同研究拠点、研究期間：2021年4月-2022年3月。</li> <li>・「ストラヴィンスキー、言語、身体」、早稲田大学: 特定課題研究（2019Q-042）、研究期間：2019年7月-2020年3月。</li> <li>・「バレエ・リュスの「花火」について」、早稲田大学: 特定課題研究（2019C-633）、研究期間：2019年6月-2020年3月。</li> <li>・「ストラヴィンスキーとオリエンタリズム：《日本の3つの抒情詩》における「春」の表象」早稲田大学: 特定課題研究（2018K-443）、研究期間: 2018年4月 - 2019年3月。</li> <li>・「「デ・スタイル」とジョージ・アンタイルの構成美学」、独立行政法人日本学振興会: 平成29年度科研費助成事業 学術研究助成基金助成金(80710467)、研究期間: 2017年4月 - 2019年3月。</li> <li>・「ストラヴィンスキーの創作プロセスにおける着想段階と全体性構築段階各々の視点」、早稲田大学: 特定課題研究（2017K-384）、研究期間: 2017年4月 - 2018年3月。</li> <li>・「作曲書法と作品構造：ウェーベルン、ストラヴィンスキー、リゲティ、ブーレーズ」、三菱財団第45回（平成28年度）人文科学研究助成、研究期間：2016年10月-2018年3月（共同研究）。</li> </ul>

